



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 東・名
 コード番号 7975 URL http://www.lihit-lab.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 宏和
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)大内 高明 (TEL)06(6946)2525
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	6,720	1.2	270	5.5	416	95.3	246	123.0
25年2月期第3四半期	6,643	0.3	255	△33.8	213	△27.7	110	△18.7

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 411百万円(255.1%) 25年2月期第3四半期 116百万円(29.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第3四半期	14	17	—	—
25年2月期第3四半期	6	23	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	13,180	64.4	8,492	64.4	8,492	64.4
25年2月期	13,295	62.5	8,314	62.5	8,314	62.5

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 8,492百万円 25年2月期 8,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,950	1.6	290	△9.5	360	△7.8	210	△0.7	12	36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	19,078,500 株	25年2月期	19,078,500 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	2,091,748 株	25年2月期	1,331,292 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	17,387,917 株	25年2月期3Q	17,749,965 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日～平成25年11月30日）の我が国経済は、いわゆるアベノミクス効果を背景に円安や株高が進み、大企業を中心に企業業績が改善し、個人消費も堅調に推移する等景気の回復感が強まる状況で推移いたしました。

当業界におきましては、個人需要では継続して高機能製品や高付加価値製品が堅調に推移する反面、法人需要の回復が進まない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、事務用品等事業において「良い品はお徳です」をモットーに、パーソナルユースに重点を置いた新製品の投入を積極的に推進し、売上の拡大に努めてまいりました。

新製品では、コロモガエカバーノートとコロモガエダイアリー2014が好評を博し、順調に売上を伸ばしました。また、発表以来好調を持続しているSMART FIT(スマートフィット)シリーズは、情報雑誌等にたびたび紹介され、キャリングポーチ、カバーノートを中心に売上を伸ばしました。

アクアドロップスシリーズでは、サイズやアイテムを拡充、展開したツイストリング・ノートを中心にシリーズ全体の売上を拡大いたしました。家庭用向けメディカル用品MS+(エムエスプラス)シリーズも順調に売上を伸ばしました。一方、既存製品群は、売上が伸び悩む結果となりました。

また、不動産賃貸事業は、堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、67億2千万円（前年同期比1.2%増）となりました。利益面につきましては、期中の円安等により製品、原材料等の調達コストの上昇が進行しましたが、新製品の売上げの伸びに加え、ベトナム生産子会社の生産増強に努めたことや、経費削減等を進めたこと等により営業利益は2億7千万円（前年同期比5.5%増）となりました。経常利益は、USドル建債権が、期中の円安により為替差益1億4千2百万円を計上したこと等により4億1千6百万円（前年同期比95.3%増）となり、四半期純利益は2億4千6百万円（前年同期比123.0%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減 (%)
フ ァ イ ル	2,299	34.2	△5.0
バインダー・クリヤーブック	1,504	22.4	3.7
収 納 整 理 用 品	1,710	25.4	10.9
そ の 他 事 務 用 品	924	13.8	△4.4
事 務 用 品 等 事 業	6,439	95.8	0.9
不 動 産 賃 貸 事 業	280	4.2	7.1
合 計	6,720	100.0	1.2

【事務用品等】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

＜ファイル部門＞

ルーパーファイル、アクアドロップス・リングファイル、リクエスト・D型リングファイル等は、売上を堅持いたしました。法人需要の低迷により別製品受注が伸び悩んだことに加え、既存製品が、総じて低調に推移いたしました。その結果、ファイル部門の売上高は22億9千9百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

＜バインダー・クリヤーブック部門＞

ツイストリング・ノートが、使用用途に応じたラインナップを追加投入し、積極的に製品展開を進めたことや、情報誌等各種メディアに注目されたこと等により伸張いたしました。また、アクアドロップス・クリヤーブック＜ポケット交換タイプ＞は通期で売上を伸張いたしました。その結果、バインダー・クリヤーブック部門の売上高は15億4百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

＜収納整理用品部門＞

新製品のコロモガエカバーノート、コロモガエダイアリー2014やSMART FITシリーズのキャリングポーチ、カバーノート等が発売当初から好調に売上げを伸ばし、机上用品シリーズやキャリングバッグ「2ウェイタイプ」、バッグ・イン・バッグ、ポイントカードホルダー等が、期を通じて順調に推移したことにより、収納整理用品部門の売上高は17億1千万円（前年同期比10.9%増）となりました。

＜その他事務用品部門＞

新製品の家庭向けメディカル用品の新シリーズMS+(エムエスプラス)が好調に売上げを伸ばしましたが、既存の事務機器類及び既存のメディカル用品の低価格化の進行による売上減少をカバーするには至らず、結果、その他事務用品部門の売上高は9億2千4百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は64億3千9百万円（前年同期比0.9%増）となり、営業利益は2億9百万円となりました。

【不動産賃貸】

不動産賃貸事業は、本社ビルの入居率の改善等により、不動産賃貸事業の売上高は、2億8千万円(前年同期比7.1%増)となり、営業利益は6千1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ1億1千4百万円減少し、131億8千万円となりました。これは、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。純資産は、1億7千7百万円増加し84億9千2百万円となり、その結果自己資本比率は64.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期業績予想につきましては、平成25年10月9日付「平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました予想より変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,548,169	1,452,236
受取手形及び売掛金	1,698,665	1,514,181
商品及び製品	1,471,960	1,589,816
仕掛品	64,663	68,819
原材料及び貯蔵品	757,787	645,875
繰延税金資産	85,098	106,939
その他	134,726	162,452
貸倒引当金	△3,517	△3,088
流動資産合計	5,757,554	5,537,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,773,625	2,675,233
機械装置及び運搬具(純額)	792,610	782,028
土地	2,925,180	2,925,180
リース資産(純額)	3,550	2,301
その他(純額)	103,514	147,073
有形固定資産合計	6,598,482	6,531,818
無形固定資産	69,367	61,053
投資その他の資産		
投資有価証券	514,430	669,935
その他	362,217	387,231
貸倒引当金	△6,582	△6,711
投資その他の資産合計	870,065	1,050,455
固定資産合計	7,537,914	7,643,327
資産合計	13,295,469	13,180,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,085,033	699,944
短期借入金	※2 569,000	※2 582,000
リース債務	1,748	1,748
未払法人税等	104,164	123,189
賞与引当金	112,104	155,154
役員賞与引当金	11,900	16,475
その他	317,110	440,348
流動負債合計	2,201,061	2,018,860
固定負債		
長期借入金	1,300,000	1,154,000
リース債務	1,979	668
繰延税金負債	188,453	237,332
退職給付引当金	900,273	873,652
役員退職慰労引当金	151,347	154,900
その他	237,745	248,542
固定負債合計	2,779,798	2,669,095
負債合計	4,980,859	4,687,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,870	1,411,861
利益剰余金	5,238,025	5,395,734
自己株式	△252,349	△397,571
株主資本合計	8,227,546	8,240,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91,734	191,520
繰延ヘッジ損益	43,429	43,570
為替換算調整勘定	△48,100	17,489
その他の包括利益累計額合計	87,063	252,581
純資産合計	8,314,609	8,492,605
負債純資産合計	13,295,469	13,180,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	6,643,722	6,720,541
売上原価	4,379,672	4,427,982
売上総利益	2,264,050	2,292,558
販売費及び一般管理費	2,008,115	2,022,421
営業利益	255,934	270,136
営業外収益		
受取利息	498	563
受取配当金	6,697	7,782
受取保険金	6,909	2,632
為替差益	391	142,674
雑収入	10,979	15,522
営業外収益合計	25,476	169,175
営業外費用		
支払利息	15,423	13,832
為替差損	42,715	121
雑損失	10,079	9,014
営業外費用合計	68,219	22,967
経常利益	213,192	416,344
特別損失		
固定資産廃棄損	6,970	4,012
特別損失合計	6,970	4,012
税金等調整前四半期純利益	206,221	412,332
法人税、住民税及び事業税	114,462	194,097
法人税等調整額	△18,751	△28,209
法人税等合計	95,710	165,887
少数株主損益調整前四半期純利益	110,510	246,444
四半期純利益	110,510	246,444

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	110,510	246,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,185	99,786
繰延ヘッジ損益	35,477	141
為替換算調整勘定	△18,778	65,590
その他の包括利益合計	5,512	165,517
四半期包括利益	116,023	411,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,023	411,962
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,381,481	262,240	6,643,722	—	6,643,722
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	510	510	△510	—
計	6,381,481	262,751	6,644,233	△510	6,643,722
セグメント利益	217,652	38,282	255,934	—	255,934

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,439,606	280,934	6,720,541	—	6,720,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,126	1,126	△1,126	—
計	6,439,606	282,060	6,721,667	△1,126	6,720,541
セグメント利益	209,075	61,061	270,136	—	270,136

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。